

## 2018年 年の初めのご挨拶

新しい年のごあいさつを申し上げます。  
皆さまつつがなくご越年になりましたでしょうか。  
お伺い申し上げます。



昨年の干支は「酉」。良くも悪くも本当にいろいろせわしない年でした。

今年はどのような年になるのでしょうか。

「景気は上向きらしい。株価は上がり、就職だって悪くない。なのに、将来への漠然とした不安が消えない。誰もが『どう生きるか』に迷い、悩んでいる。先が見えない、分かり合えない時代。」と、朝日新聞の耕論にありました。そのためには「希望」の持てる社会を考え、創って行く事が必要です。

まず、日本の国政において「場当たりの政権運営」は終わりにしましょう。

憲法には「われらとわれらの

子孫の為・・・」とあります。先を見据えた政治を望みます。日本の課題は・人口減少・デフレ脱却・働き方改革・賃上げ3%と言われます。それには知恵とダイバーシティ（diversity 多様性）が必要だと、ライフネット社長の出口治明氏は言われ、加えて「歴史に見る」事が大事だと学びました。

第4次産業革命到来の影響もあってか、私たちのこれからの生活には只ならぬ変化の気配が感じられます。例えばAI時代の人間。私たちはAIをどう制御し、人間の幸せのために役立てるかを考え、その方向に社会を構築していくことが求められます。

世界に目を向けると、反グローバリズム（・自国優先主義・移民の制限・保護貿易・自由貿易圏からの離脱）が広がり、トランプ大統領のアメリカ自国中心主義

に引きずられそうな我が国の状況も懸念されます。

一方では、日本地震列島にいつやって来るかわからぬ天災への備えにも力をつくしていく必要があります。

今年は干支「戌」にちなんで嗅覚を鍛錬し、何事にも希望を持ち、よく考え臆する事なくチャレンジする活動を、心掛けたいと考えております。

今年もどうぞ御指導、御鞭撻のほどよろしく願いいたします。